

教科(科目)	国語総合(現代文)	単位数(時数)	2単位(74)	学年(科)	1学年(国際文化科, 情報科学科)
使用教科書	・東京書籍『国語総合 現代文編』				
副教材等	・大修館書店『明鏡国語辞典(第二版)』 ・第一学習社『新訂総合国語便覧(新版四訂)』 ・尚文出版「新作品詞別 頻出漢字マスター3000」				

### 1. 学習目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

### 2. 指導の重点

- ① 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約や詳述をしたりする力をつける。
- ② 語彙力を豊かにし、対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を身につける。
- ③ 討論等で、話題について多角的に検討し、反論などを想定しながら自分の意見を述べる力を磨く。
- ④ 言葉の成り立ちや言語の役割について理解し、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。

### 3. 評価規準と評価方法

#### 〈評価の観点〉

- ・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、他文化との比較などを通じて言語文化についての興味や関心を深めようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、相対化して話し合っている。(話す・聞く能力)
- ・優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行い、自分の表現に役立てている。(書く能力)
- ・語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えを正確に過不足なく読み取っている。(読む能力)
- ・表現や読解に活かすべく、語彙力を磨き、知識を身につけようとしている。(知識・理解)

#### 〈評価方法〉

評価の観点をふまえ、定期考査、長期休業後の課題テスト、小テスト、ノートや提出物の内容、授業の取り組みなどから、総合的に判断する。

### 4. 学習アドバイス

- ① 語彙力や読解力をしっかりと身に付けましょう。評論文は、段落の要約や構成図の作成を行いながら論理的に読み込むことで要旨を捉えやすくなります。また、小説は、登場人物の心情の変化を丁寧に押さえながら、一語に込められた言葉の力を味わうことで、作品を豊かに鑑賞することができます。文章のジャンルごとに、重視すべきポイントがあります。授業内容を理解し、自分で試していくことが読解力向上の鍵です。
- ② 漢字の読み書きはもちろん、不明の語句は必ず調べて、どのような意味か確認しましょう。何となくわかった気にならずに、気になった語句や表現は辞書を活用するという習慣を身につけましょう。
- ③ 授業で身につけた力をさらに伸ばす上で効果的なのが、新聞のコラム(社説や特集など)を要約することです。要約を書き、添削を受けることで、表現力も磨かれます。それらの学習が小論文の基本を身につけることにも繋がり、ひいては大学で論文やレポートを書く基礎力としても活かされます。ぜひ3年間、要約のトレーニングに励んでください。(担当: 松井 武文)

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）
4	「技術が道徳を代行する時」 「水の東西」	2 3 (5)	評論（一）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の基本的な構造を理解し、要約の仕方について学ぶ。</li> <li>・技術の発達と道徳的な判断力について理解する。</li> <li>・日本と西洋との比較を通じ、日本文化の特質を理解する。</li> </ul>
5	「少女たちの『ひろしま』」 「蟬と日本語」	3 3 (6)	随想（一）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想と評論との違いについて理解する。</li> <li>・筆者のものの見方や感じ方、表現の特色に注目し、筆者の価値観を読み取る。</li> </ul>
6	「羅生門」 「客観的と抽象的」 ※ 中間考査	4 3 (7)	小説（一） 評論（二）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説の構造を理解し、小説の基本的な読み方を実践する。</li> <li>・文章構成に注意して、考え方の姿勢について抽象的に書かれた内容を的確に読み取る。</li> </ul>
7	スピーチする・調査して発表する・討論する 「鏡」	3 4 (7)	言語活動 小説（二）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じた効果的なスピーチを学び、考えを深める。</li> <li>・幅広く情報に当たって調査し、効果的な発表の仕方を学ぶ。</li> <li>・論拠を明確にし、相手を尊重した討論についてを学ぶ。</li> <li>・表現に注目し、登場人物の心理について読み取る。</li> </ul>
8	「富嶽百景」 随想を書く・意見文を書く	3 3 (6)	小説（三） 言語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説において、風景描写のはたらきを理解する。</li> <li>・情景や心情を、表現に工夫し描写する。</li> <li>・論理展開や構成を工夫し、自分の考えをまとめる。</li> </ul>
9	「〈顔〉という現象」 「言葉は『ものの名前』ではない」 ※ 期末考査	3 4 (7)	評論（三）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を通して、自己と他者との関係についての的確に読み取る。</li> <li>・言語と認識の関係について、具体例を通して筆者の主張を理解し、言葉の働きについて考える。</li> </ul>
10	「時間と自由の関係について」 「広告の形而上学」	4 3 (7)	評論（四）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間と自由との関係について筆者の主張を的確に読み取るとともに、それに対してどう思うか自分の意見を書く。</li> <li>・比喩表現に注意し、広告の奇妙さということを通して、現代社会の特質について考える。</li> </ul>
11	「城の崎にて」 「神様」	4 3 (7)	小説（四）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物に仮託された筆者の心情を読み取り、人間の生と死について考える。</li> <li>・動物と話すという架空の物語の面白さを、描写に即して味わい、そこに込められた意味について考える。</li> </ul>
12	「小景異情」 「十五の心」 創作をする ※ 中間考査	2 2 2 (6)	詩・短歌 ・俳句	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読をとおして韻文独特のリズムを味わい、限られた字数に込められた読み手の心情を読み取る。</li> <li>・韻文読解で得た知識などを駆使し、短歌・俳句・詩などを創作する。</li> </ul>
1	「映像文化の変貌」 「生物の多様性とは何か」	3 3 (6)	評論（五）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複製技術が発達した現代の映像文化について叙述に即して的確に読み取る。</li> <li>・生物の多様性について筆者の意見を読み取り、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。</li> </ul>
2	「〈私〉時代のデモクラシー」※ 期末考査	4 (4)	評論（六）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈私〉が尊重される現代社会におけるデモクラシーが抱える課題について理解し、視野を広げる。</li> </ul>
3	「暇と退屈の倫理学」 通知文を書く・情報を読み取る・実用文について考える	3 3 (6)	評論（七） 言語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暇を得た社会の中で、個人はどう生きればよいのかについて、引用と筆者の主張に注意して読み取る。</li> <li>・多様なメディアから情報を的確に読み取り、表現を工夫しながら目的に応じた文章を書く。</li> </ul>

計 7 4 時間（4 8 分授業）